

レファレンス通信

第3号(平成25年6月)

富士宮市立中央図書館・レファレンス室 TEL26-5062

図書館ホームページアドレス <http://library.city.fujinomiya.shizuoka.jp>

1・2号とレファレンス室の基本的なことをお話しました。

今回からは、レファレンス室にある、富士山コーナー・富士宮資料・静岡県資料について、紹介して行きます。

私たちに、大変身近な資料です。一つずつ詳しく見ていきましょう。

今回は**富士山コーナー**を取り上げます。



レファレンス室に入ると、正面に堂々とした富士の姿（模造紙ですが）が、目に入ります。ここが、富士山コーナーです。富士の頂を支えているのが、富士山関係の約1600冊の図書です。

ここには、写真集・富士登山・市内小中学生の富士山学習発表会・富士山関連のパンフレットなど、絵本から専門書まで多くの富士山資料があります。



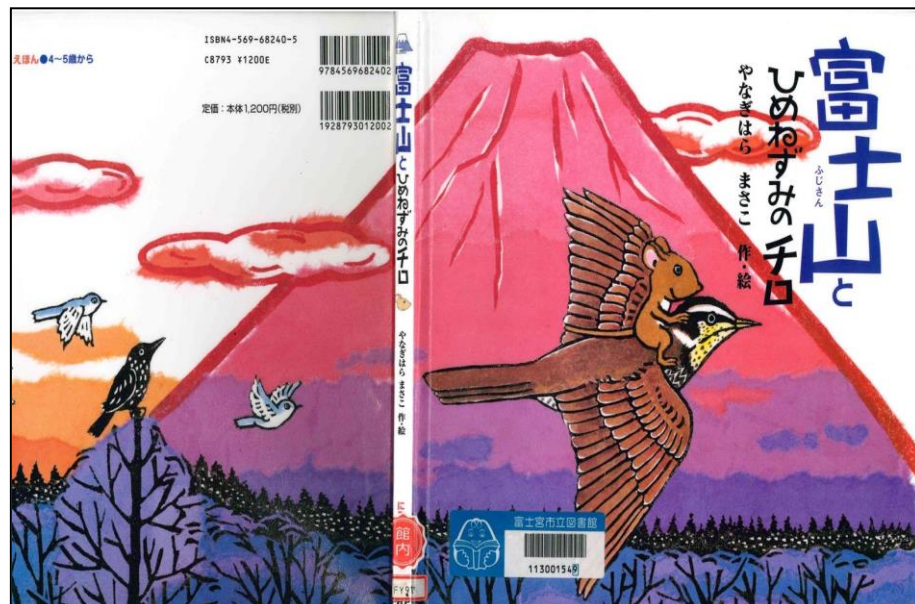
その中の2冊の本をご紹介します。

『富士山とひめねずみのチロ』 やなぎはらまさこ作・絵 PHP研究所 (FY9 ヤ)

日本一の山、富士山の自然を考えるおはなしです。

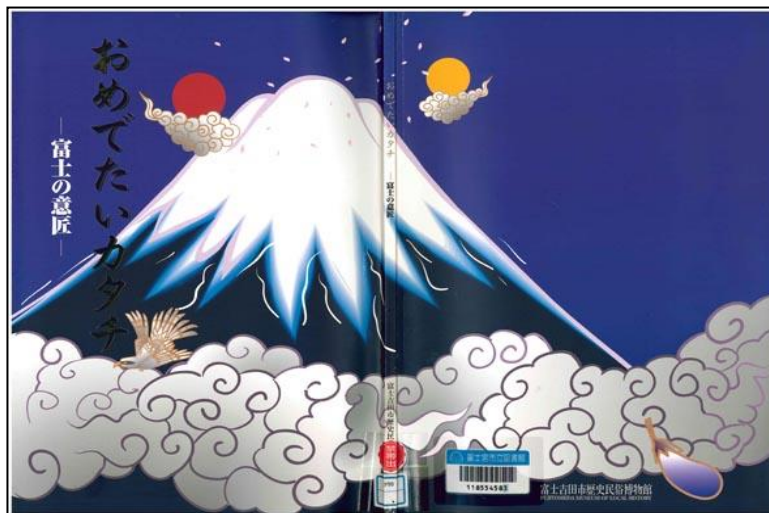
巻末には、富士山の厳しい自然の中で生きる動物や
ゴミだらけの富士山周辺の写真が掲載されています。

子どもから読める絵本です。



『おめでたいカタチー富士の意匠ー』 富士吉田市歴史民俗博物館（FY0）

平成17年9月に富士吉田市歴史民俗博物館で開催された企画展の図録です。富士山の「カタチ（形）」そのものに着目し、意匠化された富士山に関する種々の資料を中心に、信仰のカタチとしての富士から通俗的なカタチの富士といった幅広い視点からさまざまな富士山を取り上げています。（「発刊にあたって」より）



他にも、たくさんの富士山資料があります。

また、図書館では、図書や視聴覚資料以外に絵はがき・切手・地図等も収集しています。とても珍しい切手をご紹介します。

大正12年(1923)の切手



震災切手

（関東大震災直後に暫定的に製造された切手）

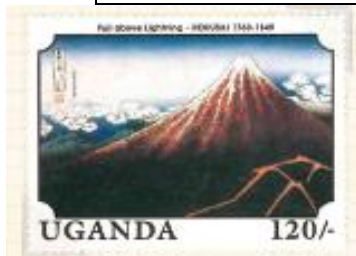
昭和12年(1937)の切手



富士鹿切手

（富士山と鹿が図柄になっている切手）

外国で発行された富士山切手



ウガンダ



満州



アジマン（アジア首長国連邦）

他にも、大正11年（1922）～平成9年（1977）までの富士山にまつわる切手175点があります。この貴重な切手は、富士宮市出身の方から平成17年に寄贈されました。

これらの、絵はがき・切手等を、「富士山文化遺産登録」に合わせて、レファレンス入口で展示します。図書館にお越しの際は、どうぞご覧下さい。

